

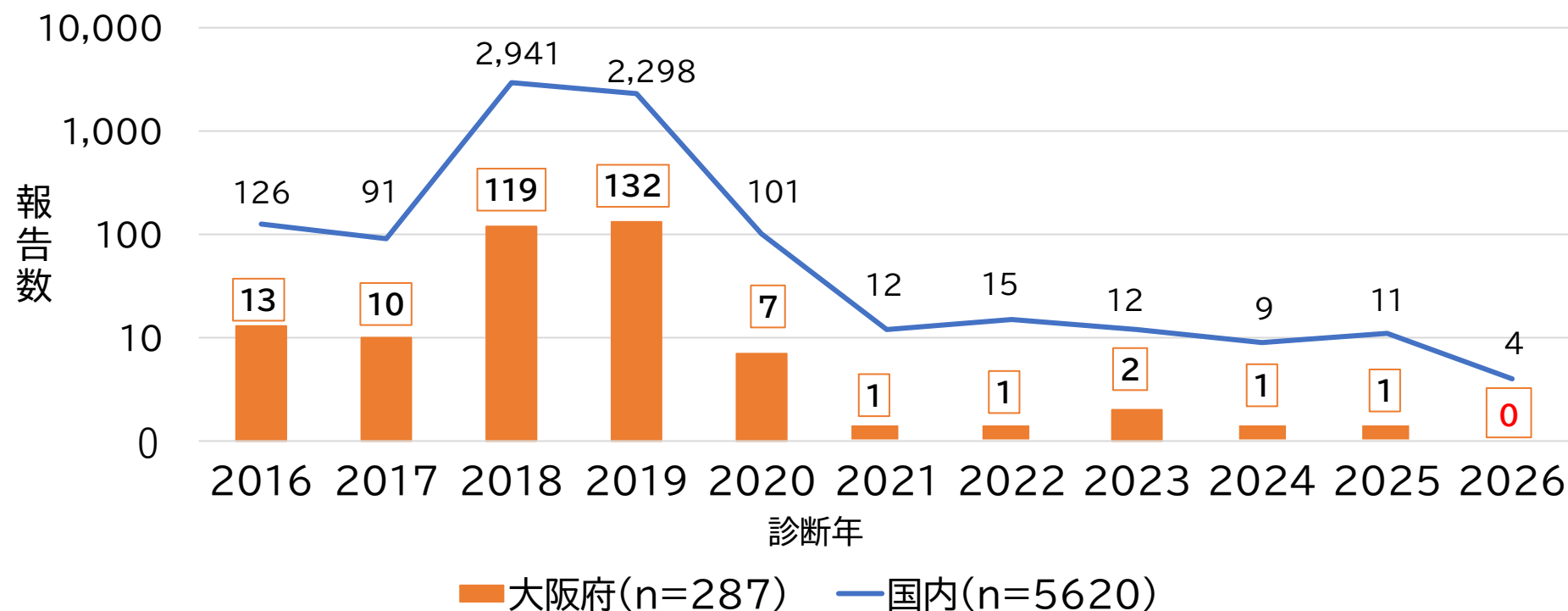
令和8年度大阪府感染症対策審議会  
麻しん及び風しん対策部会

# 国内・府内の麻しん・風しん発生動向 麻しん注意喚起・啓発について

大阪府 健康医療部 保健医療室  
医療・感染症対策課 感染症企画グループ

# I . 風しんの発生動向

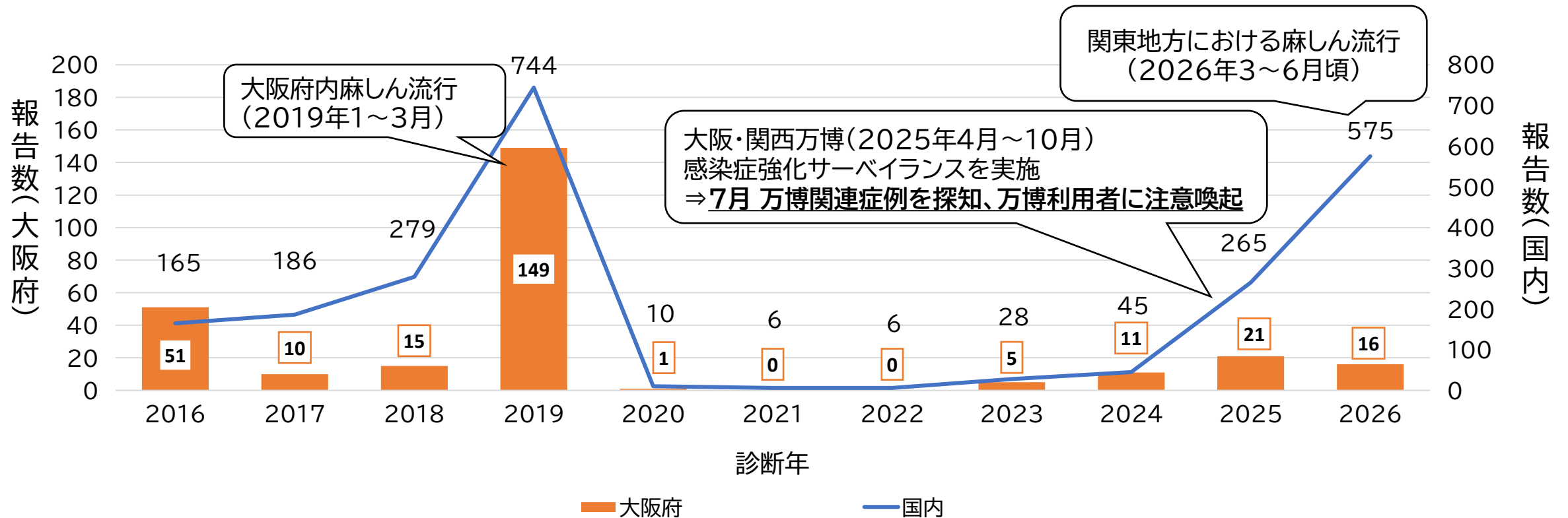
# 風しんの発生動向(国内・大阪府,2016～2026年(40週まで))



- 全数把握が始まった2008年以降について、全国・大阪府ともに2013年、2018～2019年に感染流行が確認された。
- 2025年9月26日、世界保健機関 西太平洋地域事務局により、日本の風しんの排除が認定された。
- 2026年については、大阪府内では風しん症例は報告されていない。

## Ⅱ. 麻しんの発生動向

# 国内・府内の麻しんの発生動向(2016～2026年(40週まで))



国立健康危機管理研究機構「感染症発生動向調査(IDWR)」よりデータ引用  
(<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/measlesdoko.html>)

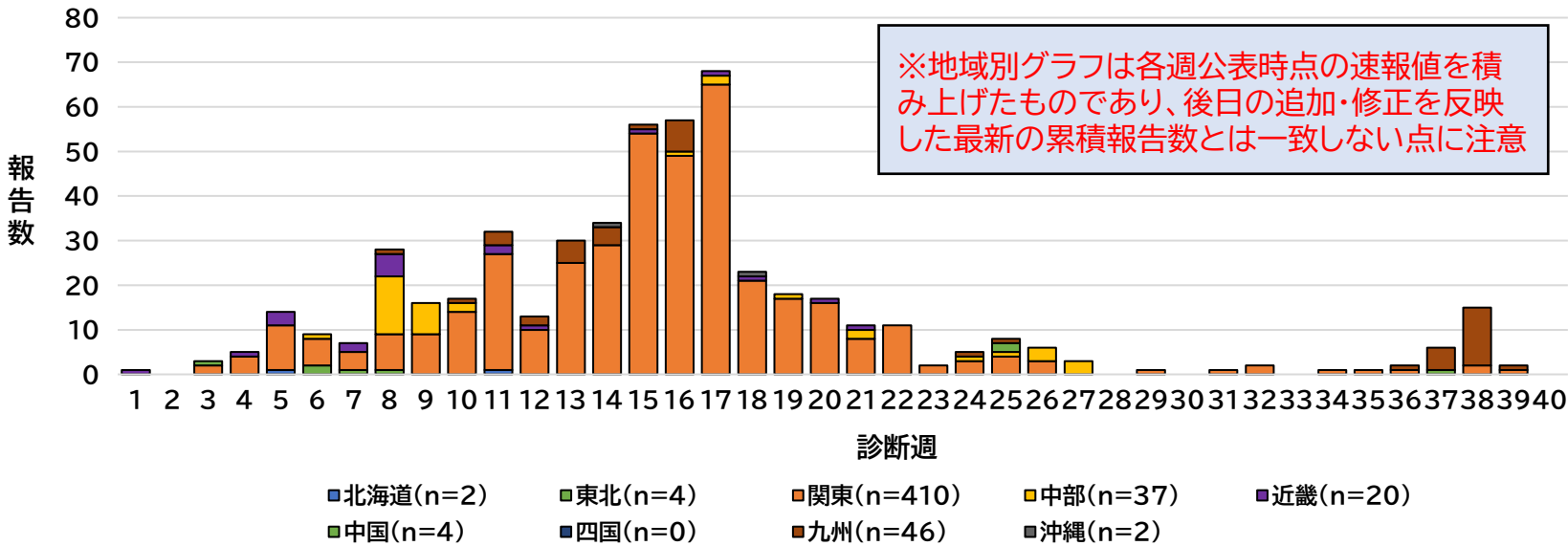
- ・ 国内外における人の往来制限(新型コロナウイルス感染症対策)に伴い、2020～2022年の国内・大阪府内の報告数は大きく減少した。
- ・ 2023年から年間報告数は増加し、直近数年間は増加傾向となっている。

# 都道府県・地域別の麻疹発生動向(2026年(40週まで))

都道府県別累積報告数(40週時点)

|    | 順位   | 累積  |
|----|------|-----|
| 1  | 東京都  | 271 |
| 2  | 神奈川県 | 49  |
| 3  | 埼玉県  | 40  |
| 4  | 鹿児島県 | 34  |
| 5  | 千葉県  | 33  |
| 6  | 愛知県  | 28  |
| 7  | 福岡県  | 22  |
| 8  | 栃木県  | 16  |
| 8  | 大阪府  | 16  |
| 10 | 新潟県  | 10  |

地域別の麻疹報告数(速報値) (2026年1～40週)



国立健康危機管理研究機構「感染症発生動向調査(IDWR)」よりデータ引用  
( <https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/measlesdoko.html> )  
地域区分については独立行政法人統計センターの「類型Ⅱ」を用いた  
( <https://www.e-stat.go.jp/regional-statistics/ssdsview/prefectures> )

- 2026年3月から4月にかけて、関東地方を中心に麻疹の報告数が増加した。
- 都道府県別の累積報告数をみても、東京都、神奈川県等の関東地方の都道府県からの報告が多い状況であった。
- 一方で、大阪府においても16例の報告があり、他の都道府県と比較して多い水準であった。

# 大阪府内の麻しん発生動向(2026年(40週まで))

図1. 麻しん症例の遺伝子型別発生状況

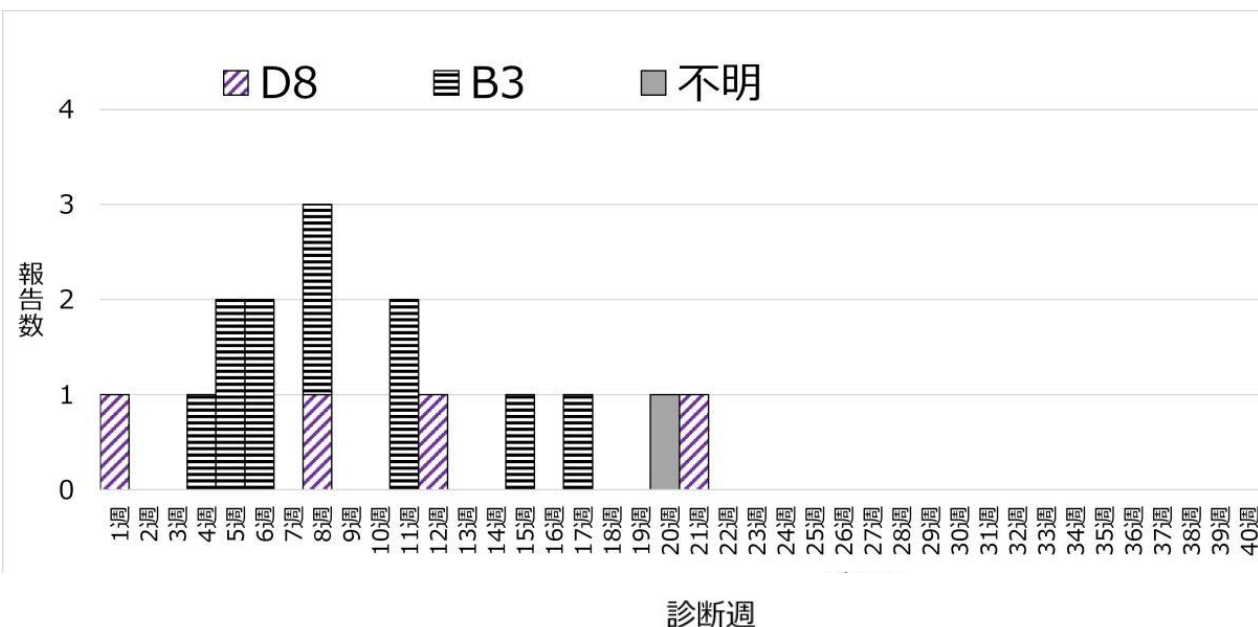
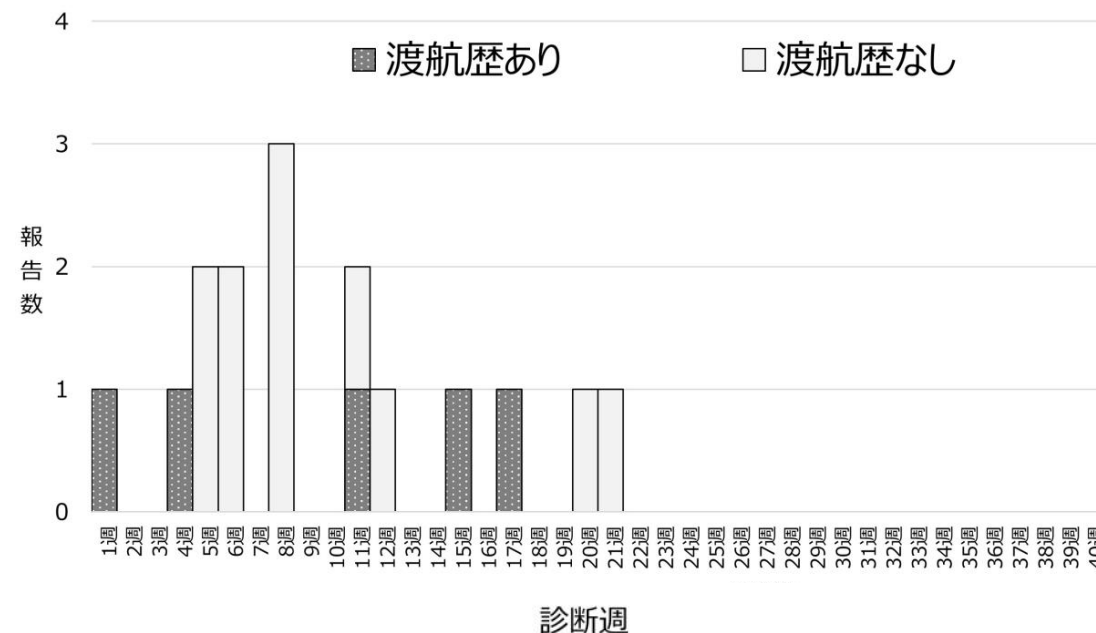


図2. 麻しん症例の渡航歴の有無別発生状況



大阪府感染症情報センター「麻しん」より抜粋&加工  
( <https://www.iph.pref.osaka.jp/zensu/20210128105027.html> )

- 大阪府では、2026年1月から5月までにかけて、麻しん症例の集積が認められた。
- 遺伝子型が判明した15症例のうち11症例(73%)がB3型であり、4例(27%)がD8型であった。
- 麻しん16症例のうち11症例(69%)は渡航歴が確認されず、国内又は府内での感染機会が示唆された。

注)遺伝子型は大阪健康安全基盤研究所、堺市衛生研究所で実施された検査結果に基づく  
注)型別PCRが陰性となった検体については遺伝子型は記載していない

# 大阪府内の麻しん症例(2026年(40週まで))

| No | 保健所 | 年齢    | 性別 | 予防接種歴 | 発症日      | 渡航歴                | 特記事項      | 遺伝子型 | 報道提供日     |
|----|-----|-------|----|-------|----------|--------------------|-----------|------|-----------|
| 1  | 泉佐野 | 40代   | 男  | 0     | 25/12/27 | インドネシア             | -         | D8   | 1/3       |
| 2  | 大阪市 | 30代   | 男  | 1     | 1/7      | フィンランド・イタリア・フランスなど | -         | B3   | 公表なし      |
| 3  | 大阪市 | 10代   | 女  | 2     | 1/30     | なし                 | -         | B3   | 2/4       |
| 4  | 大阪市 | 50代   | 女  | 2     | 1/25     | なし                 | -         | B3   | 2/4       |
| 5  | 大阪市 | 20代   | 男  | 1     | 1/29     | なし                 | -         | B3   | 2/5&2/6   |
| 6  | 大阪市 | 30代   | 女  | 0     | 1/27     | なし                 | -         | B3   | 2/10      |
| 7  | 吹田市 | 10代   | 男  | 2     | 2/15     | なし                 | -         | D8   | 2/19      |
| 8  | 和泉  | 20代   | 女  | 不明    | 2/12     | なし                 | -         | B3   | 2/23      |
| 9  | 大阪市 | 40代   | 女  | 0     | 2/13     | なし                 | -         | B3   | 2/24      |
| 10 | 岸和田 | 30代   | 男  | 2     | 3/8      | なし                 | No.9の接触者  | B3   | 公表なし      |
| 11 | 大阪市 | 30代   | 男  | 不明    | 3/8      | ベトナム               | -         | B3   | 3/16&3/17 |
| 12 | 富田林 | 30代   | 男  | 不明    | 3/13     | なし                 | -         | D8   | 3/19&3/23 |
| 13 | 大阪市 | 10歳未満 | 男  | 0     | 4/5      | ベトナム               | -         | B3   | 公表なし      |
| 14 | 大阪市 | 10歳未満 | 男  | 0     | 4/18     | ベトナム               | -         | B3   | 4/28      |
| 15 | 大阪市 | 20代   | 男  | 1     | 5/6      | なし                 | -         | 不明   | 公表なし      |
| 16 | 大阪市 | 10代   | 男  | 2     | 5/18     | なし                 | No.15の接触者 | D8   | 公表なし      |

- 渡航歴が確認された麻しん5症例のうち3症例(60%)はベトナムへの渡航歴を有していた。
- 16症例中5症例(31%)は予防接種歴2回であった。これらの症例からの二次感染例は確認されなかった。
- 症例10及び症例16は、初発症例の接触者として健康観察中に発症した。発症時には、事前連絡の上で医療機関を受診するよう保健指導が行われており、不特定多数との接触は確認されなかったため、報道提供には至らなかった。

## Ⅲ. 麻しん注意喚起・啓発について

# 2026年の麻しんに係る報道実績

※X閲覧数については、10月13日時点

| 報道No | 発信日  | 発信内容(施設名)                                         | ネット記事取り上げ状況      | X閲覧数 |
|------|------|---------------------------------------------------|------------------|------|
| 1    | 1/3  | ファミリーマート泉南樽井北店                                    | 共同通信             | 1.9万 |
| 2    | 2/4  | 近鉄電車、阪神電鉄、Osaka Metro、大丸心斎橋店                      | (大丸心斎橋店公式告知あり)   | 80万  |
| 3    | 2/5  | Osaka Metro中央線・千日前線                               | —                | 5.7万 |
| 4    | 2/6  | 日本生命病院 ※No.3の第2報                                  | 共同通信             | 4万   |
| 5    | 2/10 | スシロー ユニバーサル・シティウオーク大阪店                            | 読売テレビ系           | 4.2万 |
| 6    | 2/19 | 阪急電鉄、スギ薬局豊津店                                      | 読売テレビ系           | 5.6万 |
| 7    | 2/23 | ドラッグアカカベ泉大津昭和町店                                   | 読売テレビ系           | 2.6万 |
| 8    | 2/24 | Osaka Metro千日前線・御堂筋線、阪神電鉄、阪急電鉄                    | 読売テレビ系、ABC系      | 204万 |
| 9    | 3/16 | 業務スーパー喜連西店                                        | MBS、TBS NEWS DIG | 2.8万 |
| 10   | 3/17 | スギ薬局長居公園通店 ※No.9の第2報                              | —                | 3.6万 |
| 11   | 3/19 | 南海高野線、Osaka Metro御堂筋線、コメダ珈琲店<br>スターバックス コーヒー、PL病院 | 読売テレビ系           | 82万  |
| 12   | 3/23 | ホテル関西 ※No.11の第2報                                  | —                | 3.5万 |
| 13   | 4/28 | デイリーカナートイズミヤ花園店、愛染橋病院                             | 読売テレビ系、ABC系      | 4.9万 |

大阪府では、麻しん患者の発生時に、感染可能期間中に府内で不特定多数に接触した可能性がある場合、報道提供及び公式Xによる情報発信を行い、府民に対する注意喚起を実施している。(X:フォロワー4.1万人)

# 2026年の麻しんに係る啓発① 府ホームページによる注意喚起

## 麻しん（はしか）《麻しん患者が増えています！》

2026年の国内麻しん患者数は362例(4月19日までの集計)に達しており、既に昨年(2025年)の累積患者数である265例を超えています。

現在首都圏を中心に多数の患者が発生しており、今後府内でも感染が広がることが懸念されます。

麻しんは、乳幼児などでは脳炎や肺炎といった合併症により重症化するリスクがあります。

感染予防にはワクチンが有効であり、小児については定期予防接種\*をご検討ください。

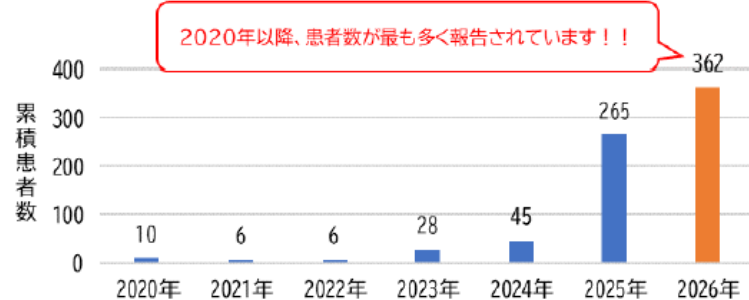
海外渡航を予定している方は、渡航前に母子保健手帳などを確認し、これまでの麻しん（はしか）に対する予防接種歴やリ患歴をご確認ください。リ患歴がなく、過去に定期接種を受けた記録がない場合には、特に渡航前の予防接種をご検討ください。

\*麻しん（はしか）の定期予防接種(MRワクチン)は以下の期間に2回の接種が必要です。

第1期:1歳の1年間（1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前日まで）

第2期:5歳以上7歳未満で、小学校入学前の1年間

<国内における麻しん累積患者数(2020年～2026年)> ※2026年は1月1日から4月19日までの集計



## Attention 注意喚起

夏日が続いています。早めの熱中症対策を！

【注意情報】麻しん（はしか）の発生状況について

府のトップページにて注意喚起

国内・府内の発生状況に応じて、発信内容を変更

1月～3月:府内で麻しん症例が継続して確認されていることを強調

4月～6月:関東地方で麻しんが流行している状況を強調

※2026年10月時点で国内・府内における大きな流行は確認されていないため、トップページでの掲載は終了。

- 2026年1月～6月にかけて大阪府ホームページのトップページに注意喚起として掲載。
- 国内・府内の流行状況に応じて発信の方向性を修正。

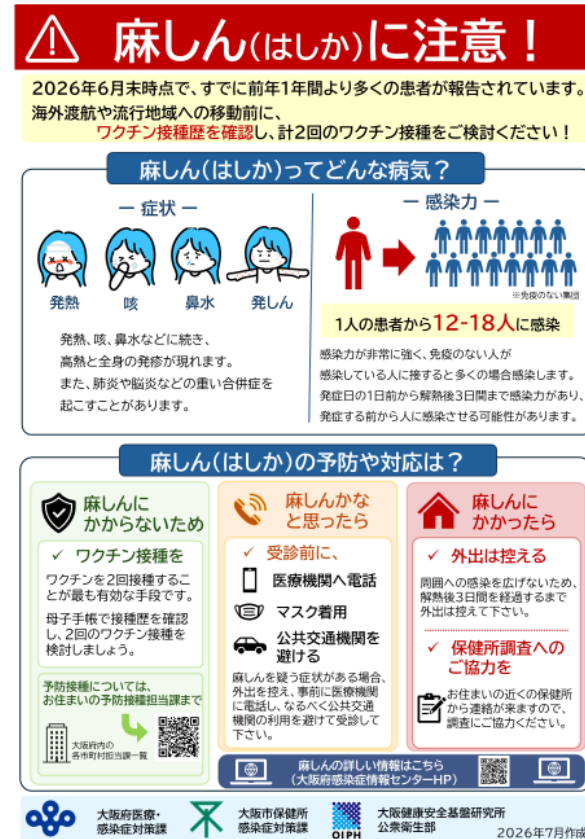
# 2026年の麻しんに係る啓発② 啓発資材(関係機関との連携による取組)

## ①関西空港検疫所との連携



- 関西空港検疫所との連携により、大阪府が作成した麻疹啓発リーフレットを検疫所内に設置し、旅行者への啓発を実施。

## ②大阪健康安全基盤研究所との連携



- 「感染症危機事象に備えた連携協力に関する協定」に基づき、3者間(大阪健康安全基盤研究所、大阪市、大阪府)において啓発リーフレットを作成。
- 多言語版のリーフレットも作成。

# 府内の麻しん発生動向・対応のまとめ

## <発生状況>

- 大阪府内では、1月から3月にかけて、国内感染が疑われる麻しん症例が複数確認された。
- 予防接種歴が2回である症例が一定数確認された。
- 渡航歴を有する症例の中では、ベトナムへの渡航歴を有する者が比較的多く認められた。

## <麻しん注意喚起・啓発について>

- 2026年においても、麻しん症例ごとに疫学調査を実施し、接触者対応を行うことで感染拡大防止に努めた。
- 不特定多数への接触が想定される事例については、引き続き報道提供等による注意喚起を実施した。
- 国内及び府内の発生動向を踏まえ、適時、府民及び関係機関に対する情報発信を行った。

【論点】麻しん対策に資する情報として、以下の3点を委員にお伺いしたい。

1. 海外及び国内における麻しんの発生動向(遺伝子型B3及びD8の発生状況や流行の特徴)について、どのような傾向がみられるか。
2. 国内他地域と大阪府内を比較した場合、渡航者の渡航先、年齢層、行動歴等に特徴的な違いがみられるか。
3. 2回接種済みの症例も一定数確認されている。こうした状況を踏まえ、予防接種の意義や有効性について、再度確認したい。

# 参考:2回予防接種の意義について(JIHS)

Q3-03: 麻しんに関する予防接種は、どうして2回必要なのですか。2回接種しても感染する人がいるなら、意味がないのではないですか

2回接種が必要な理由は主に3つあります。

- (1) 約5%存在すると考えられる、1回の接種で免疫がつかなかった子どもたち(primary vaccine failure; PVF)に免疫を与えること
- (2) 1回の接種で免疫がついたにもかかわらず、その後の時間の経過とともにその免疫が減衰した子どもたち(secondary vaccine failure; SVF)に再び刺激を与え、免疫を強固なものにすること
- (3) 1回目に接種しそびれた子どもたちにもう一度、接種の機会を設けること、です。

このような理由から2006年度以降、[Q3-02](#)にもあるように、2回の定期接種が実施されています。

ワクチンの効果は非常に高いのですが、麻しんウイルスの感染力が大変強いために、長期間ウイルスに曝露した場合、2回接種して免疫を獲得した方でも麻しんに感染することがあります。その場合も、以下のような効果が期待できます。

- ・ワクチン未接種の場合は感染するとほぼ全員発症するのに対して、発症のリスクを大幅に下げることができます
- ・もし発症した場合も、症状が軽く済みます(『修飾麻しん』と呼ばれます)
- ・周囲へ感染を広げるリスクを小さくすることができます

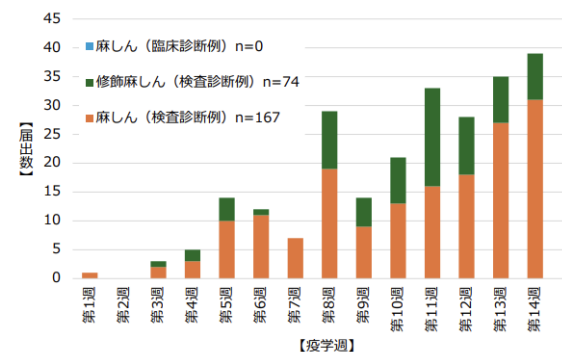
## JIHS『麻しんQ&A(麻しんワクチンについて)』

<https://id-info.jihs.go.jp/relevant-information/measles/faq/vaccine/index.html>

- ・2回接種後も感染・発症することはあるが、発症リスクの低下に加え、発症した場合の症状の軽減や、周囲へ感染を広げるリスクの低下が期待される。

## ワクチン接種歴未完了者の78%は3主徴を示していた

麻しん症例の病型別報告週別届出数 (n=241、2026年第1~14週)



麻しん症例の症状別・麻しん含有ワクチン接種歴別届出数 (n=241、2026年第1~14週、届出時点、重複あり)

|           | 2回接種<br>(n=73) | 割合  | 未完了者<br>(n=168) | 割合  |
|-----------|----------------|-----|-----------------|-----|
| 発熱        | 72             | 99% | 164             | 98% |
| 咳         | 29             | 40% | 113             | 67% |
| 鼻汁        | 21             | 29% | 70              | 42% |
| 結膜充血      | 10             | 14% | 66              | 39% |
| 眼脂        | 2              | 3%  | 17              | 10% |
| コプリック斑    | 12             | 16% | 63              | 38% |
| 発疹        | 51             | 70% | 151             | 90% |
| 肺炎        | 1              | 1%  | 7               | 4%  |
| 中耳炎       | 0              | 0%  | 1               | 1%  |
| 腸炎        | 1              | 1%  | 11              | 7%  |
| クループ      | 0              | 0%  | 0               | 0%  |
| 脳炎        | 0              | 0%  | 0               | 0%  |
| その他       | 21             | 29% | 23              | 14% |
| 3主徴を満たす症例 | 34             | 47% | 131             | 78% |

✓ 届出症例の約70%は麻しん(検査診断例)であった

✓ 麻しん含有ワクチン接種歴が2回接種未完了者の78%が3主徴(発熱・発疹・カタル症状)を呈しており、2回接種者では47%であった

## JIHS『麻しんの発生に関するリスクアセスメント(2026年第一版)等による最近の発生動向の説明』(令和8年4月24日自治体向け資料)

<https://www.mhlw.go.jp/content/001696653.pdf>

- ・国内の届出症例(2026年第1~14週)では、3主徴(発熱・発疹・カタル症状)がそろった割合は、2回接種者で47%、2回接種未完了者で78%であり、2回接種者で低かった。